



◎ 滝川駐屯地創立63周年記念

平成三十年年度の滝川駐屯地創立六十三周年記念行事が六月十日滝川駐屯地で盛大に行われた。
前日とは打って変わり暖かく絶好な記念日和。観閲行進が開始される頃は汗ばむ程であった。
今年も第一空挺団のパラシュート降下がみられ訪れた観客も上空一八〇〇メートルから降下する空挺隊員が的確にコトローリングして目の前に着地すると拍手が沸き上がり感嘆の声が聞かれた。



(降下する空挺隊員)

◎ 滝川支部パレードを支援

六月九日、滝川駐屯地創立六十三周年記念行事の一環として、本町通を会場に今年も市中パレードが行なわれた。隊友会滝川支部では、今回もこのパレードの交通統制を担当し、円滑な市中行進を支援した。春の例大祭と時期が重なり例年使用していたベルロードから本町通りに会場を移しての開催となった。当日はいつになく気温が下がり、六月とは思えない程の一枚の気温、手に息を吹き掛けながらのきびしい支援となったが、会場内から「頑張つて」「苦勞様です」と声が掛けられ会員一同揃いのジャンパーと帽子を着用してパレード支えた。



◎ 自衛官候補生二十五キロ行進訓練激励

六月三日、今年度四月に入隊した自衛官候補生の五十八名が教育期間最期を飾る二十五キロ行進訓練に挑んだ。
この日、朝六時三十分集合、隊容検査を受けた後、元気に駐屯地を出発していった。隊員は、石狩川左岸から新十津川方面へと廻り、右岸を経由して駐屯地に帰る二十五キロのコース。一名の落伍者もなく無事十五時頃滝川駐屯地に帰隊した。なお、隊友会滝川支部(麻生副支部長以下四名)は、出発前に激励品を贈り、出発を見送った。



黙々と行進する候補生



◎ 支部第一回役員会議開催

六月十七日、まちづくりミシクンにおいて、第一回支部役員会が開催され、顧問等の委嘱、現在までの事業の総括、当面の事業予定などが審議された。
顧問には、北村昌也氏・安楽良幸氏、相談役に樋渡喜久男氏、北川裕己氏と決定された。また、先の隊友会本部定期総会における議決権行使状況の報告があり、滝川支部は25.9名に対し、95.57%と良い結果であった。



◎ 戦没者慰霊祭

札幌地方滝川支部(支部長柴尾明弘)は、六月十一日慰霊碑が建立されている滝川神社において、滝川市が主催する「平成三十年度戦没者慰霊祭」に支部長以下七名が出席した。慰霊祭には市長はじめ遺族会会長、遺族、滝川駐屯地司令及び滝川市議会議員などが参列し、祝詞奏上に始まり追悼の辞、玉串奉奠が厳粛かつしめやかに行われ、先の大戦で尊い命を落した先人の霊を慰霊した。



◎ 就職援護活動

五月三十一日、北川裕己前滝川支部長は、滝川駐屯地援護室の依頼で、定年退職予定隊員に対する援護教育を行なった。「再就職に不安があるのは当然全く未知の仕事であっても決して恐れる事は有りませんし、自衛隊での経験で無駄なことはひとつもありません。知らない道に踏み出す勇気を持つてほしい」と自らの経験を語りかけ、退職予定隊員再就職に対する心構えについて話された。



◎ 今後の予定

- 七月十一日 夏の全国交通安全街頭啓発
- 八月 二日 滝川駐屯地納涼盆踊り大会
- 八月十一日 滝川駐屯地しづき太鼓部創設二十周年を祝う会
- 八月十九日 支部対抗パークゴルフ大会
- 九月三日 三団体共催スポーツ大会&親睦会
- 九月九日 コスモスマラソン支援
- 九月下旬 秋の全国交通安全街頭啓発
